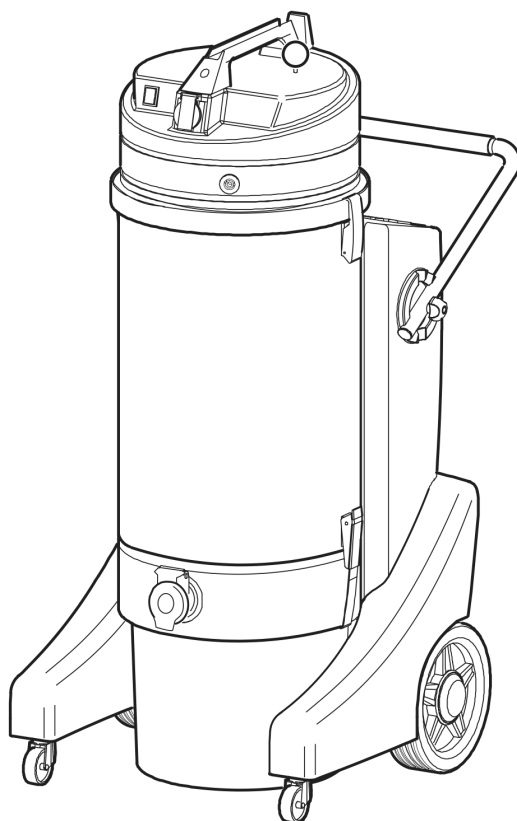




取扱説明書

ポータブルユニット

P300i ITEM No.V055470



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要事項を良く理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告・注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。


- 使用目的


本製品は、車両内外の整備や清掃、作業台および床の清掃、切削・切断時に発生する粉塵などを付属のクリーニングキットやオプションのノズルなどと併用して吸引する装置です。なお、車両の排気ガスなどの吸引や排出、水や油などの液材の吸引、多量の水分や油分を含む粉塵には使用できません。また、本装置で捕集することができるのは粉塵などの粒子状物質のみで、ガス成分の浄化は行うことができません。

- 警告・注意事項


本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。


本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

 **警告** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性、または重症を負う可能性があります。

 **注意** : この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



 この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

 この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 移動や保管上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。









注意

-  - 本製品をクレーンなどで持ち上げる場合、本書で指定した吊り下げ方法にて行ってください。本書で指定した方法以外で吊り下げた場合、装置の落下や破損の原因となります。
-  - 本製品を保管する場合、高温多湿になる場所を避けてください。電装部品や金属部分が腐食する可能性があります。また、保管前にはゴミ容器の中のすべてのゴミを取り除いてください。









- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

-  - アルミニウム粉末（合金含む）、チタニウム、マグネシウムなどの粉塵爆発の危険性が高い粉末の吸引やガソリン、シンナーなどの可燃性ガス、溶接ヒューム、有毒ガスの吸引はしないでください。粉塵爆発や火災、ガスによる中毒を引き起こし、周辺の作業員などが死亡や重大な障害を負う危険性があります。
-  - 車両排気ガスの吸引や排出には使用しないでください。有害ガス吸引による死亡や障害などを負う危険性や装置が故障する可能性があります。
-  - 本製品は防雨型ではありません。屋外では使用しないでください。故障や感電などの原因となります。また、屋内においても、高温多湿になる場所で使用しないでください。密閉された場所を避け、水平で風通しの良い場所で使用してください。
-  - 本製品の分解や改造は行わないでください。また、本製品の各部カバーなどを取り外した状態で使用しないでください。充電部やモーター回転部に接触し、感電死や負傷の可能性があります。
-  - 非常に強い吸引力ですので、過って目や耳などにホースやノズルの先端部が接触した場合、失明や聴覚障害などの重大な障害を負う危険性があります。この点を作業員には十分理解させてください。
-  - 必ず単相 200V のアース付きの電源を用いてください。電源コードは 3 芯ですが、一本はアース線です。三相 200V の電源を接続すると、装置の火災や故障、感電による死亡の可能性があります。
-  - 故障した場合、必ず当社指定のサービス担当による修理を受けてください。部品交換や修理が適正に行われないと、装置の性能が引き出せないばかりか、装置の火災や再故障、感電による死亡の可能性があります。（お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。）
-  - 本製品は防爆仕様ではありません。油庫内などの防爆雰囲気での使用はおやめください。本製品を使用することで、爆発や引火などの原因となります。

注意

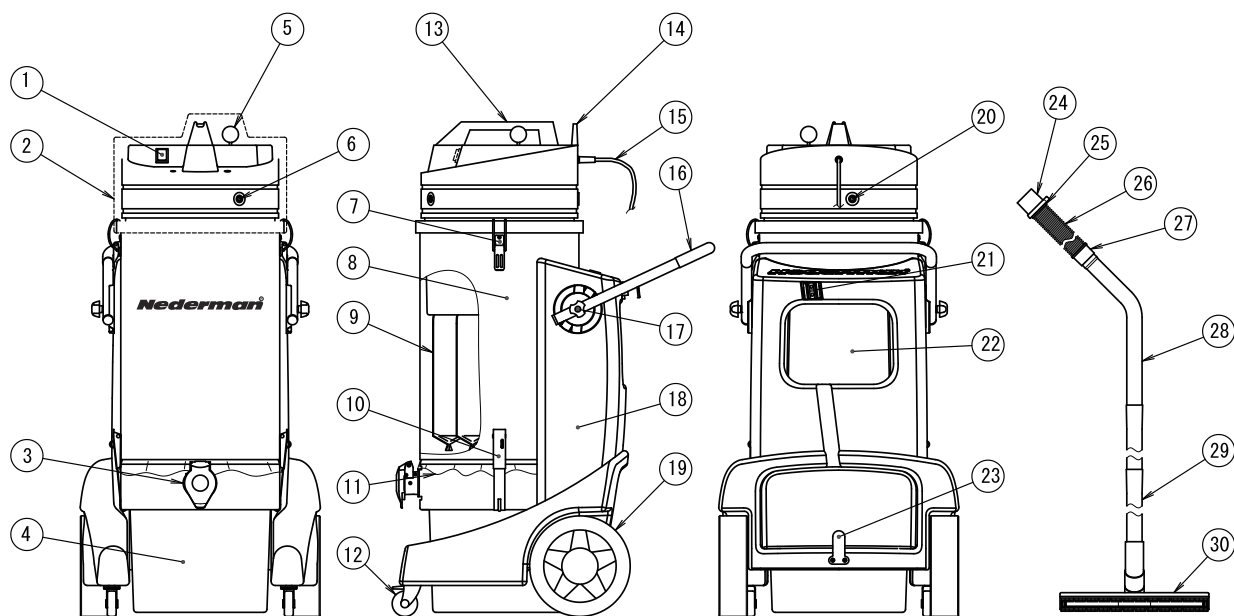
-  - タバコなどの裸火を吸引することは絶対にしないでください。ダクト内部や本装置の集塵部で火災が発生し、重大な事故へと繋がります。
-  - 大きなウエスや新聞紙などは吸わないでください。配管内に詰まり、システムが使用不能になる可能性があります。
-  - オイルや水分を多く含むゴミや粉塵の吸引はしないでください。ホースの内壁に固着し、詰まる原因やフィルターが短期間で目詰りを起こす原因になります。オイルや水分を多く含む粉塵（工作機械の切削くずなど）を吸引する場合は、別売のプレセパレーターをお買い求めください。
-  - 本製品は定期的なメンテナンスを行うことで、その性能を維持することができます。必ず日常点検を実施し、定期的に弊社サービス担当によるメンテナンスを受けてください。（お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。）
-  - 本製品の作動中は、騒音が 75 dB(A) に達することがあります。長時間ご使用の場合は、必要に応じて耳栓やイヤーマフなどを装着してください。
-  - 有害な粉塵を吸引する場合やフィルターを交換する場合、ゴミ容器内のゴミを取り出す場合などは、取り扱いを誤ると微細な粉塵やゴミが飛び散る可能性がありますので、保護マスクや保護眼鏡などの保護具を着用してください。
-  - フィルターの交換やゴミ容器内のゴミを取り出すときは、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。不意にモーターが動き出し、微細な粉塵を撒き散らす原因となります。
-  - バルブを閉じたまま長時間使用したり、ノズルやホースが詰まった状態で長時間使用したり、短時間に起動と停止を繰り返したりしないでください。オーバーヒートや故障の原因となります。

目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告・注意事項
- 使用上の注意
- 目次

1.各部の名称	1
2.移動・保管	2
2.1 移動	2
2.2 保管	2
3.使用方法	
3.1 本製品を単独で使用する場合	2
3.2 本製品をエアツールと連動させる場合	3
3.3 フィルタークリーニング	3
3.4 ファインフィルターの交換	4
3.5 ダストパック（ビニール袋）の交換	4
3.6 マイクロフィルター（オプション）の取り付けおよび交換	5
4.保守・点検	
4.1 トラブルシューティング	6
4.2 保守・点検	7
5.主要諸元	
5.1 仕様	8
5.2 外観寸法	8
6.部品分解図・パーツリスト	9
7.製品保証登録シート	10
8.保証規定	11

1. 各部の名称



1	電源スイッチ	16	ハンドル
2	モーターユニット	17	ハンドル固定用ノブ
3	フラップバルブ	18	フレーム
4	ダストボックス	19	車輪
5	フィルタークリーニング用ノブ	20	エア接続口 (R 1/4 または Rc 1/8)
6	エアツール接続口 (R 1/4 または Rc 1/8)	21	パイプホルダー
7	モーターユニット固定用ファスナー	22	ポケット
8	フィルターケーシング	23	ノズルホルダー
9	ファインフィルター	24	ホースカプラ (FM40-50P)
10	ダストボックス固定用ファスナー	25	ホースカプラ (M40-38P)
11	ダストパック	26	ホース
12	ブレーキ付きキャスター	27	ホースカプラ (F40-38P)
13	上部ハンドル	28	エルボパイプ
14	ケーブルフック	29	ストレートパイプ
15	ケーブル	30	フロアノズル

2. 移動・保管

2.1 移動

- 1) 本製品を移動する際は、ハンドルを持って行ってください。上部ハンドルを使用しての移動はしないでください。
- 2) 本製品を移動する際は、直立の状態かもしくはあらかじめ倒した状態で、容易に動いたり転倒したりしないように確実に固定してください。
固定にはハンドル部を用いて行き、上部ハンドルには過度な力が加わらないように注意してください。また、ダストボックスを空にし、フラップバルブを閉じた状態で移動してください。(Fig.1)
- 3) 本製品をクレーンなどで吊り上げる場合、ハンドル位置を右図のようにしてから、ハンドルにフックをかけるなどして吊り上げてください。(Fig.2)
上部ハンドルにフックを掛けて吊り上げないでください。また、ダストボックスを空にし、フラップバルブを閉じた状態で吊り下げてください。

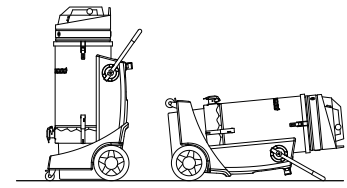


Fig.1

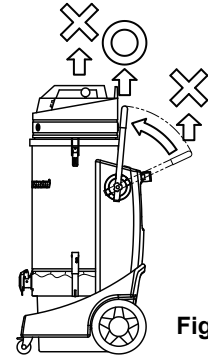


Fig.2

2.2 保管

- 1) 屋内の水滴などの当たらない場所に保管してください。
- 2) 周辺温度が-10~40 °C、相対湿度が85 %以下の場所に保管してください。
(ただし結露しないこと)

3. 使用方法

3.1 本製品を単独で使用する場合

- 1) フラップバルブを開け、ホースカプラ (FM40-50P) およびホース・フロワノズル類を接続してください。(Fig.3)
- 2) 電源プラグをコンセントに差し込み、本製品に電源を供給してください。
- 3) スイッチをマニュアル側 (I) に入れてください。スイッチを入れると同時にモーターが作動します。(Fig.4)
- 4) フロアノズルの先端で吸引力が発生していることを確認し、粉塵の吸引作業や清掃作業を開始してください。
- 5) 作業が終了したら、スイッチを切ってください。
- 6) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 7) 電源コードをまとめ、本製品上面のケーブルフックに掛けてください。
- 8) フロアノズルやストレートパイプは、本製品裏面のポケットやパイプホルダーおよびノズルホルダーに収納してください。
- 9) ハンドルを確実に持ち、本製品を邪魔にならないところへ移動してください。

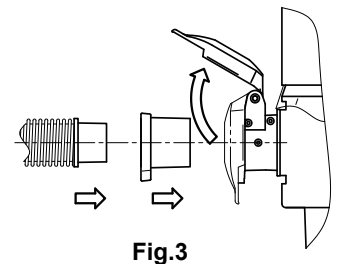


Fig.3

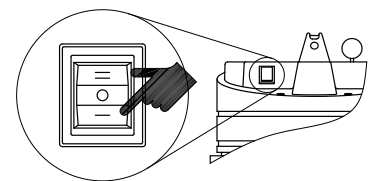


Fig.4

3.2 本製品をエアツールと連動させる場合

- 1) フラップバルブを開け、ホースカプラ（FM40-50P）およびホース・フロアノズル類を接続してください。
- 2) 電源プラグをコンセントに差し込み、本製品に電源を供給してください。
- 3) 本製品前面のエアツール接続口にエアツール用のエアホースを接続し、エアツールを接続してください。エアツール接続口のネジ径は R 1/4 または Rc 1/8 になっています。必要に応じ、カプラなどを取り付けてください。
- 4) 一次側の圧縮エア(Max0.7 MPa)を本製品裏面のエア接続口に導入してください。エア接続口のネジ径は R 1/4 または Rc 1/8 になっています。必要に応じ、カプラなどを取り付けてください。
- 5) エアツールにフードなどを取り付け、フードなどに本製品のホースを接続してください。
- 6) スイッチをエアツール連動側（Ⅱ）に入れてください。この状態では、まだモーターは作動しません。(Fig.5)
- 7) 接続したエアツールを動かし、本製品との連動を確認してください。エアツール作動後、1~2 秒後にモーターが作動し、吸引力が発生します。エアツールを止めると、数秒後にモーターも停止し、吸引力が無くなります。
- 8) エアツールを動かし、吸引力が発生したことを確認して、実作業を開始してください。
- 9) 作業が終了したら、エアツールを止め、モーターを停止させてください。
- 10) スイッチを切ってください。
- 11) 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 12) 電源コードをまとめ、本製品上面のケーブルフックに掛けてください。
- 13) エアツールなどを取り外してください。
- 14) ハンドルを確実に持ち、本製品を邪魔にならないところへ移動してください。

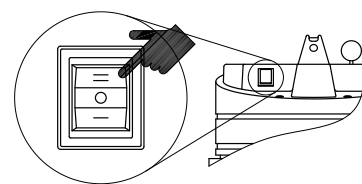


Fig.5

3.3 フィルタークリーニング

毎日使用後に実施するか、吸引力が弱くなってきたら都度実施してください。

- 1) 電源プラグをコンセントに差し込み、本製品に電源を供給してください。
- 2) スイッチをマニュアル側に入れてください。モーターが作動します。
- 3) フラップバルブからホースカプラ（FM40-50P）やホースを抜き、フラップバルブを閉じてください。(Fig.6)
- 4) 2~3 秒待ち、モーターの音が高まったところで、フィルタークリーニング用ノブを上引き上げ、手放します。これを 3~4 回実施し、フィルタークリーニングを行ってください。(Fig.7)
- 5) スイッチを切り、本製品を停止させてください。長時間、高い吸引圧力を発生させていると、オーバーヒートの原因となります。

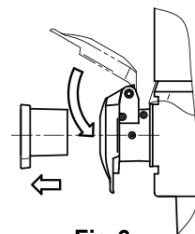


Fig.6

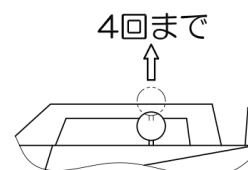


Fig.7

注意



- 長時間、高い吸引圧力を発生させたり、吸引風量をゼロにさせたりするとファンモーターがオーバーヒートし、故障する原因となります。フィルタークリーニングは、短時間で行ってください。

3.4 ファインフィルターの交換

フィルタークリーニングを実施しても吸引力が改善されない場合、ファインフィルターの交換が必要です。使用状況や粉塵の性状、粉塵の量によって異なりますが、4000～6000 時間ごとにファインフィルターの交換が必要です。(使用状況や粉塵の性状などにより、極端に短くなることもあります。)

- 1) 作業前に、「3.3 フィルタークリーニング」の項に従って、フィルタークリーニングを実施し、実施後 30 分程度放置してください。
- 2) 保護眼鏡、防塵マスクを着用してください。
- 3) モーターユニット固定用ファスナーのロックを解除し、上部ハンドルを確実に持ってモーターユニットを取り外してください。
- 4) ファインフィルターをフィルターケーシング内からゆっくりと取り出し、ビニール袋などに入れてください。
- 5) 交換用の新しいファインフィルターを、フィルターケーシング内にゆっくりと入れてください。
- 6) モーターユニットを乗せ、モーターユニット固定用ファスナーでロックしてください。
- 7) ファインフィルターを廃棄する場合、産業廃棄物として廃棄してください。また、各自治体の定める方法により分別が必要な場合、その方法に従って廃棄してください。

3.5 ダストパック（ビニール袋）の交換

ダストパック内にゴミがいっぱいになった場合や 10 kg を超えた場合は、ダストパックの交換が必要です。

- 1) 作業前に、「3.3 フィルタークリーニング」の項に従って、フィルタークリーニングを実施し、実施後 30 分程度放置してください。
- 2) 保護眼鏡、防塵マスクを着用してください。
- 3) ダストボックス固定用ファスナーのロックを解除し、ダストボックスをゆっくりと引き出してください。
- 4) ビニールをゆっくりと外してください。
- 5) 新しいダストパックをダストボックスに入れてください。このとき、ダストパックに開いている穴をダストボックスのフラップバルブ内側の突起に合わせてください。市販のビニール袋をご利用の場合、この部分に穴を開けてください。
- 6) ダストパックの端をダストボックスの上部外側に出し、ダストボックスをフィルターケーシングの真下に押し込んでください。
- 7) フラップバルブが正面になるように向きを合わせ、ダストボックス固定用ファスナーでロックしてください。
- 8) ダストパック内のゴミを廃棄する場合、産業廃棄物として廃棄してください。また、各自治体の定める方法により分別が必要な場合、その方法に従って廃棄してください。

3.6 マイクロフィルター（オプション）の取り付けおよび交換

より高い浄化率を必要とする場合、オプションのマイクロフィルターを取り付けると浄化率を高めることができます。マイクロフィルターは、一年に一度もしくは吸引力が弱まってきたら交換が必要です。（使用状況や粉塵の性状などにより、極端に短くなることもあります。）

- 1) 保護眼鏡、防塵マスクを着用してください。
- 2) モーターユニット固定用ファスナーのロックを解除し、上部ハンドルを確実に持ってモーターユニットを取り外してください。
- 3) モーターユニットの裏側に楕円状に薄いウレタンスポンジが貼り付けられています。このウレタンスポンジを覆うようにマイクロフィルターを置いてください。このとき中心の穴を、モーターユニットのネジ穴に確実に合わせてください。
既にマイクロフィルターが取り付けられていて、新品に交換する場合は、既存のマイクロフィルターを取り外してから、新品のマイクロフィルターを取り付けてください。
- 4) マイクロフィルターに付属のボルトやワッシャーを用いて、マイクロフィルターを固定してください。(Fig.8)
- 5) モーターユニットを元に戻し、モーターユニット固定用ファスナーでロックしてください。
- 6) 交換したマイクロフィルターを廃棄する場合、産業廃棄物として廃棄してください。また、各自治体の定める方法により分別が必要な場合、その方法に従って廃棄してください。

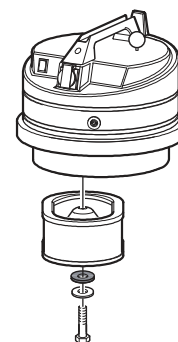


Fig.8

4. 保守・点検

4.1 トラブルシューティング

症状	原因	処置
スイッチを入れても作動しない。	一次側電源が供給されていない。	テスターなどで一次側の電源を確認し、電源を供給してください。
	プラグがコンセントに差し込まれていない。	プラグをコンセントに接続してください。
	スイッチがエアツール連動になっている。	スイッチをマニュアル側に戻してください。
	過熱保護回路の作動	5～30分放置（周辺温度などにより異なります）し、モーターおよびファンが冷めるのを待ち、再度動かしてください。
作動音はするが、吸い込みが弱い。または全く吸わない。	ホース類が接続されていない。	ホース類の接続を確認し、確実に接続しなおしてください。
	ファインフィルターが詰まっている。	フィルタークリーニングを実施し、それでも改善されない場合は、ファインフィルターを交換してください。
	ホースやパイプにゴミが詰まっている。	ゴミを取り除いてください。
	ダストボックス内にゴミが溜まり過ぎている。	ダストボックス内のゴミを取り出し、ダストパックを交換してください。
	モーターユニットが確実に固定されていない。	モーターユニットをモーターユニット固定用ファスナーで確実に固定してください。
エアツールと連動しない	エアツールのエアを他の系統から取っている。	エアツールのエアは、本製品前面のエアツール接続口から取り出してください。
	スイッチが入っていない。	スイッチをエアツール連動側に入れてください。
	過熱保護回路の作動	5～30分放置（周辺温度などにより異なります）し、モーターおよびファンが冷めるのを待ち、再度動かしてください。
モーターが突然止まり、再始動しない	過熱保護回路の作動	5～30分放置（周辺温度などにより異なります）し、モーターおよびファンが冷めるのを待ち、再度動かしてください。

上記の処置をしても正しく作動しないときは、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

4.2 保守・点検

■お客様による日常点検および保守

- ・稼動時に異音や振動などが無いか確認してください。
- ・各フィルターに破れやほつれが無いか、目視にて確認してください。
- ・ダストボックスを定期的（使用頻度に応じて。毎日～3日に一度程度）に確認し、ダストパック内にゴミがいっぱいになった場合や10 kgを超えた場合は、ダストパック（ビニール袋）を交換してください。
- ・フィルタークリーニングを定期的に行ってください。

■弊社サービス担当による定期点検

使用累積時間が700時間ごとにモーターユニット内のカーボンブラシの交換が必要です。お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へ連絡し、弊社サービス担当による保守点検を受けてください。

■消耗品

部品番号	部品名称	仕様
V119951	ファインフィルター	PP製 表面積0.9 m ²
V115011	ダストパック	620×720 フラップバルブ用穴付き
V085190	カーボンブラシ	200V モーター用

■オプション

部品番号	部品名称	仕様
V119970	マイクロフィルター	特殊セルロース製 (99.97%, 0.3 μm)
V119990	布袋	
680744	エアチャック	日東工器製 PS-20SF 相当品
680745	クチガネ	日東工器製 PS-20PF 相当品
V193620	スチールノズル	金属製
V860100	ハードノズル	φ85 ハードブラシ
V196620	φ25 ノズル	φ25 プラスチック
V190020	ブラシ付きU型ノズル	U型ノズル

※上記以外にも、各種ノズルなどをご用意しています。お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

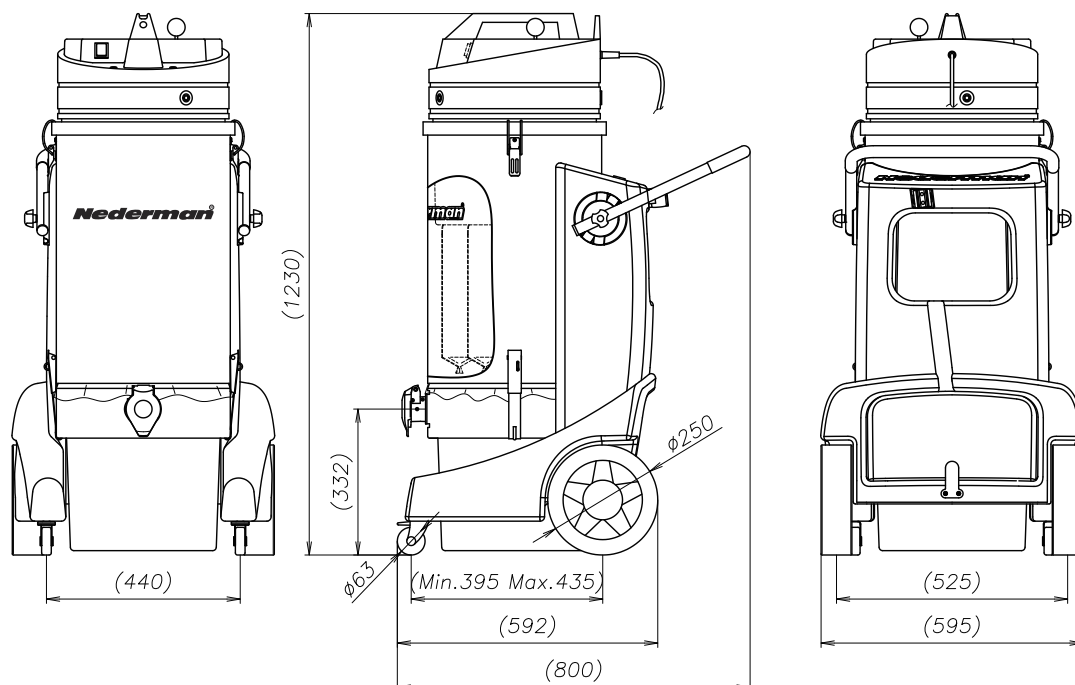
5. 主要諸元

5.1 仕様

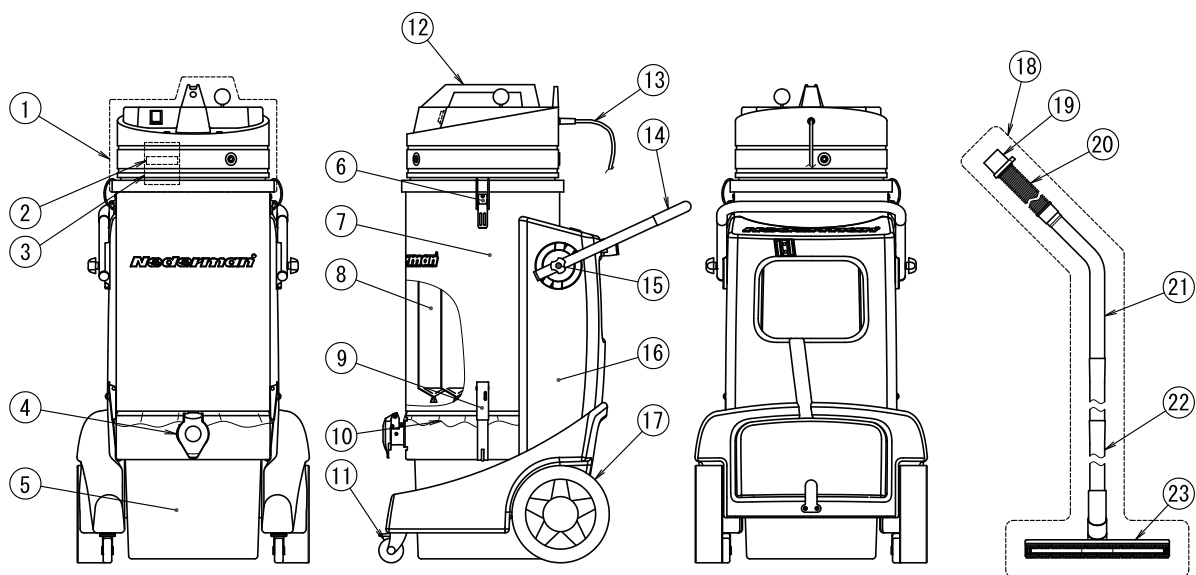
製品番号	V055470	
製品名称	ポータブルユニット	
電源	単相 AC200V	
電源周波数	50 Hz	60 Hz
ファン容量	1.0 kW×2	1.2 kW×2
定格電流	10.55 A	10.30 A
最大吸引力	18.1 kPa	18.4 kPa
最大風量	244.8 m ³ /h	240.3 m ³ /h
使用エアツール用エア圧力	Max.0.7 MPa	
エア接続口	IN	R 1/4 または Rc 1/8
	OUT	R 1/4 または Rc 1/8
メインフィルター表面積	0.9 m ²	
浄化率 ※	95 %以上	
フィルター寿命 ※	4000~6000 時間	
質量	36 kg	
騒音	75 dB	
保護等級	IP24	

※メーカー試験による(テスト粉末：石英粉末、平均粒径：2 μm)

5.2 外観寸法



6. 部品分解図・パーツリスト



No.	部品番号	部品名称	員数	備考
1	V374593	モーターユニット	1	Assy 部品 (2 含む)
2	V085190	カーボンブラシ	4	
3	V374594	モーター	2	
4	V146370	フラップバルブ	1	
5	V070920	ダストボックス	1	Assy 部品 (4 含む)
6	V903550	モーターユニット固定用ファスナー	2	
7	V114300	フィルターケーシング	1	Assy 部品
8	V119951	ファインフィルター	1	
9	V071011	ダストボックス固定用ファスナー	2	
10	V115011	ダストパック	1	
11	V096251	ブレーキ付きキャスター	2	
12	V097740	上部ハンドル	1	
13	V374595	ケーブル	1	
14	V070980	ハンドル	1	
15	V071030	ハンドル固定用ノブ	2	
16	V071200	フレーム	1	
17	V072020	ホイールキット	1	Assy 部品
18	V191230	クリーニングキット(CE370P)	1	
19	V151300	ホースカプラ	1	
20	V160370	ホース	1	ホースカプラ付属
21	V195960	エルボパイプ	1	
22	V195970	ストレートパイプ	1	2 本/セット
23	V195910	フロアノズル	1	

7. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____		ご所属 _____																												
フリガナ ご住所 _____ _____		ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1.ガソリンスタンド</td> <td>2.自動車整備業</td> <td>3.自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4.車両・造船業</td> <td>5.製鉄業</td> <td>6.機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7.機械製造業</td> <td>8.電気機械器具製造</td> <td>9.半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10.化学・プラント</td> <td>11.建築・土木</td> <td>12.塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13.薬品・樹脂</td> <td>14.食品製造業</td> <td>15.塗装業</td> </tr> <tr> <td>16.鉄道・バス・運輸業</td> <td>17.窯業・陶器製造</td> <td>18.印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19.鋳造業</td> <td>20.石油産業</td> <td>21.電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22.軽金属・非鉄</td> <td>23.織物・家具</td> <td>24.パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25.その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1.ガソリンスタンド	2.自動車整備業	3.自動車部品製造	4.車両・造船業	5.製鉄業	6.機械加工業	7.機械製造業	8.電気機械器具製造	9.半導体製造業	10.化学・プラント	11.建築・土木	12.塗料・インキ製造業	13.薬品・樹脂	14.食品製造業	15.塗装業	16.鉄道・バス・運輸業	17.窯業・陶器製造	18.印刷産業	19.鋳造業	20.石油産業	21.電気部品製造	22.軽金属・非鉄	23.織物・家具	24.パルプ	25.その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1.ガソリンスタンド	2.自動車整備業	3.自動車部品製造																												
4.車両・造船業	5.製鉄業	6.機械加工業																												
7.機械製造業	8.電気機械器具製造	9.半導体製造業																												
10.化学・プラント	11.建築・土木	12.塗料・インキ製造業																												
13.薬品・樹脂	14.食品製造業	15.塗装業																												
16.鉄道・バス・運輸業	17.窯業・陶器製造	18.印刷産業																												
19.鋳造業	20.石油産業	21.電気部品製造																												
22.軽金属・非鉄	23.織物・家具	24.パルプ																												
25.その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報とは当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

8. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202310.2754 EXT020U